

豊橋図書館の「玄関」が変わります！

豊橋図書館の自動ドアを通り過ぎると、目の前に入管ゲートをイメージさせるような「入口」「出口」があります。利用者のみなさんはそれぞれ「入口」にあるゲートを通して館内へ、あるいは「出口」のゲートを通して館外に出るしくみになっています。うっかり手続きを済ませないまま図書館の本を持ってゲートを通ると大きなブザーが鳴り、ゲートが閉じて「足止め」されてしまいます。時折、この「足止め」にあって驚いたり動揺したりする学生を見かけます。



この「足止め」の正体は、「無断持出探知システム (Book Detection Systemの略。以下、「BDS」という。)」と呼ばれ、豊橋図書館をはじめ多くの大学図書館で採用されているシステムの仕業なのです。豊橋図書館では、1999年より11年もの間、図書館の「玄関」役として、利用者をずっと見守ってきました。導入当初こそ最新装備を有した機器でしたが、既に導入から10年以上が経過し、現在では、万が一故障が発生した場合の部品の調達が難しくなるおそれがあることが判明しました。

この状況を踏まえ、豊橋図書館では2011年2月をめぐりにBDSを更新します。これにより、入館・退館方法が大きく変わります。新しいBDSでは、図書館の入館・退館時に身分を証明するカード(学生証、教職員証、社会人利用者証など)を「入口」「出口」のゲート横にある機器にかざし、利用者を確認した後すぐにゲートが開く方式となります。これにより、学生や一般利用者になりすまして館内に入る不審者を防ぐことができます。最近、学内だけでなく図書館内においても、不審者と思われる者による盗難などの被害が発生しておりますが、BDSの更新により、不審者の入館を未然に防ぐことが可能です。一方で、図書館を訪れた来訪者や、新しく社会人登録を行う方々については、遠隔操作によりカウンターからゲートの開閉が可能です。現在車道図書館では、この方式を利用したBDSを採用しています(添付の写真2枚は車道図書館のBDSです)。

新しくなったBDSにつきましては、あらためて愛知大学図書館のホームページにてご紹介いたします。そうそう、大事な注意事項がありました。利用者の皆さんは、必ず身分証明カードを携行してくださいね。そうでないと、どれだけ粘っても図書館の中に入れないこととなりますので、宜しくお願いします。

豊橋図書館 宮部 浩之

編集・発行 愛知大学図書館

2010年11月15日発行 No. 37

■豊橋図書館 〒441-8522 豊橋市町畑町字畑1-1 ☎(0532) 47-4181
 ■名古屋図書館 〒470-0296 みよし市黒笹町清水370 ☎(0561) 36-1115
 ■車道図書館 〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31 ☎(052) 937-8116

URL <http://library.aichi-u.ac.jp>